

「新たな連携」の提案

# 深層崩壊への備え

[防災・減災への新たな視点]

平成25年7月30日

# 平成23年紀伊半島大水害で多発した深層崩壊

- 紀伊山地において、約**1億m<sup>3</sup>**(東京ドーム80杯分)の山腹崩壊が発生
- 深層崩壊は**72箇所**※で発生(奈良県内は**54箇所**)

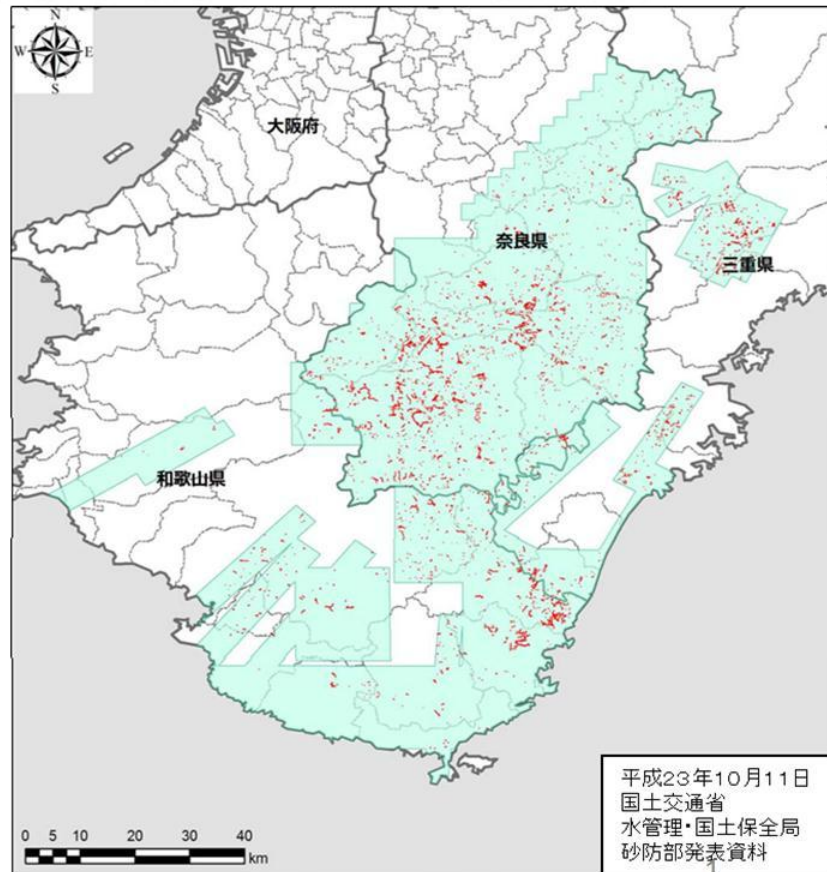
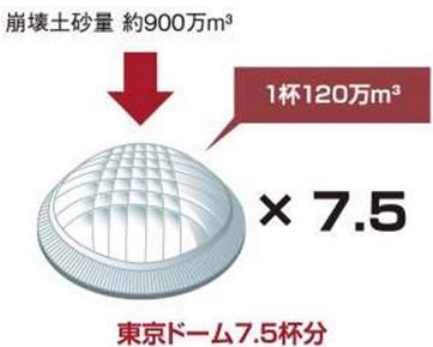
約120年前の明治22年にも同地域において深層崩壊が多発



深層崩壊は繰り返し発生する傾向



赤谷地区(五條市)の深層崩壊



平成23年10月11日  
国土交通省  
水管理・国土保全局  
砂防部発表資料

※(内訳) 奈良県54箇所、三重県12箇所、和歌山県6箇所 1

# 安全・安心の為の新たなシステムづくり

- 奈良県では、深層崩壊対策室を平成24年4月に設置
- 紀伊半島大水害の経験を踏まえ、今後の災害に備え、安全・安心のための新たなシステムづくりを推進中

深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

大規模土砂災害の監視・警戒・避難のシステムづくり

⇒県が率先して検討体制の整備や場を提供し、国(地方整備局)・学会等を巻き込みながら調査・研究を実施中

# 全国に存在する深層崩壊の発生エリア

● 中央構造線沿い、糸魚川静岡構造線沿いに  
 深層崩壊の推定発生頻度※1  
 の「特に高い」エリアが集中

ふるさと知事ネットワークのうち、  
 「特に高い」エリアが存在するのは8県  
 (山梨県、長野県、福井県、三重県、  
 高知県、熊本県、宮崎県、奈良県)

近年の豪雨により発生した深層崩壊の発生履歴※1

発生場所	発生年月
山梨県南巨摩郡早川町	平成16年5月
長野県長野市鬼無里日影(旧上水内郡鬼無里村)	平成9年5月
三重県多気郡大台町(旧宮川村)	平成16年9月
高知県香美市物部町別府中尾	平成17年9月
熊本県水俣市宝川内	平成15年7月
宮崎県東臼杵郡美郷町野々尾(旧西郷村)	平成17年9月

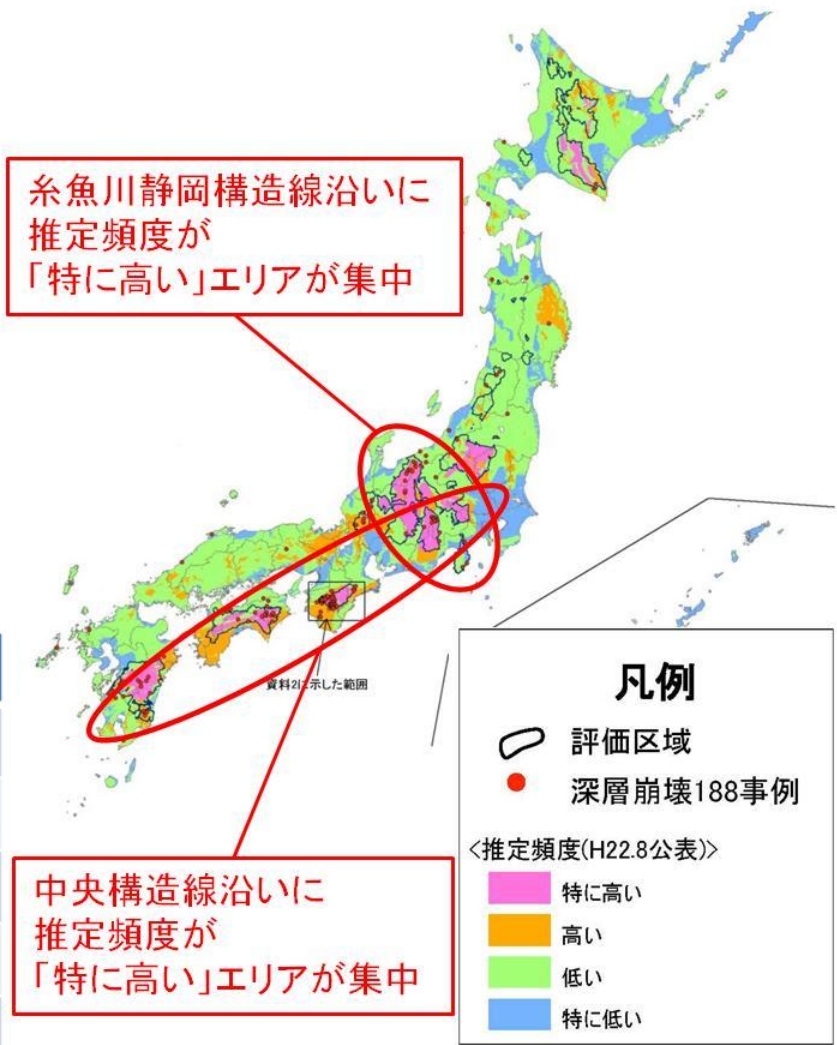


図 深層崩壊推定頻度マップ※2

※1 独立行政法人 土木研究所HPより引用  
 ※2 国土交通省水管理・国土保全局砂防部HP

注)新潟県中越地震(平成16年)、岩手・宮城内陸地震(平成20年)など地震でも多数の深層崩壊が発生

# 深層崩壊対策への連携

- 深層崩壊の調査・研究に関する情報交換を行い、各県が抱える中山間地域の防災・減災について、対応能力の向上を図る。

## <想定される効果>

- ・課題の共有 ⇒ 「深層崩壊による被害が川の対岸まで及ぶことがある」など、これまででは考えられない現象への対応
- ⇒ どこが安全であり、どこが危険かを特定することの難しさ
- ⇒ 各県が悩んでいること、疑問を抽出・整理し、他の自治体に同様の災害が発生した場合に活用
- ・防災の人材育成 ⇒ 過疎化が進む中山間地域の暮らしを支える地域防災力の向上

## <連携例>

- ・深層崩壊の勉強会を奈良県が開催することにより、各県相互の情報共有を図る。  
(参考)奈良県では、大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会を開催(これまで全7回開催)
- ・奈良県が開催する深層崩壊シンポジウム(仮称)を活用し、各県職員の深層崩壊への対応能力の向上を図る。  
(参考)奈良県では、深層崩壊シンポジウム(仮称)と併せて国際防災学会を開催予定(平成26年11月下旬) 4